

性モーメントを増加させる働きも合わせ持つます。また、YDS-1はGT-2000/2000L以外のプレーヤにも装着可能な汎用タイプです。

▶アンカーブロック：YAB-1 ¥90,000
1セット2ヶのダンベルタイプウェイトを鉄棒で連結し使用するもので、1セット32kgの重

量を誇り、GTシリーズの重量を60kgにまでグレードアップします。しかも高さ調整機構付きスプリング・ラバー複合型フィート付属。

GTシリーズ以外の内外高級重量級プレヤとも組合せ可能。

Fig. 5 YOP-1

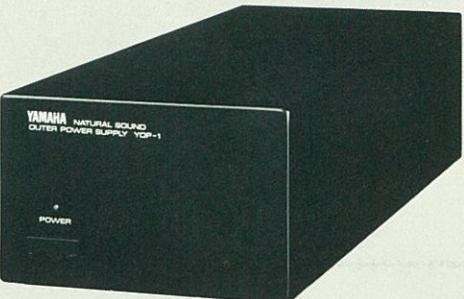


Fig. 6 YAL-1(アームに取付けたところ)

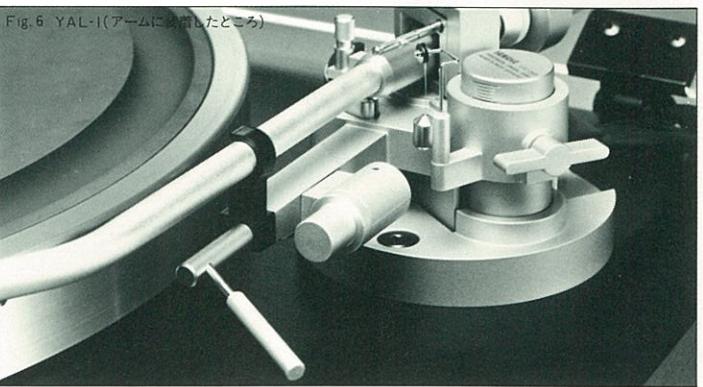


Fig. 7 YDS-1

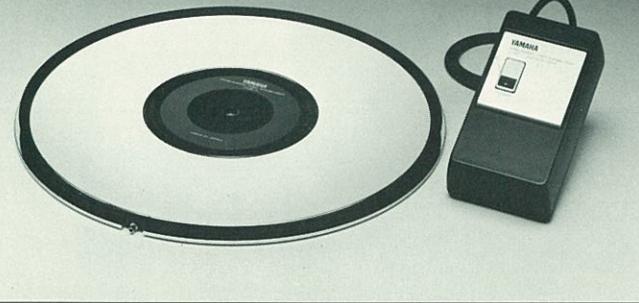
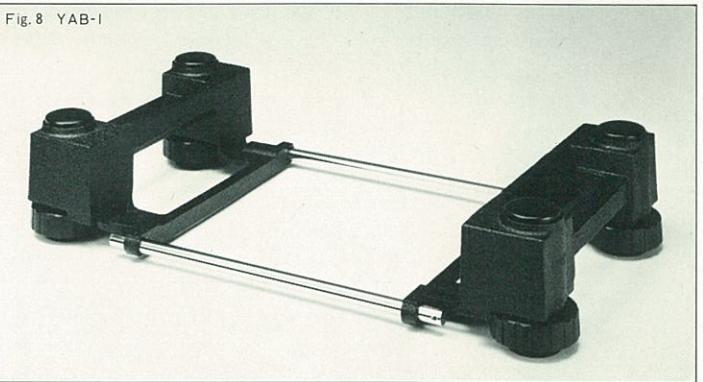


Fig. 8 YAB-1



GT-2000/2000Lの主な規格

■ターンテーブル
直径 374mm
重量 5.8kg(ゴムシート0.3kg含む)
慣性モーメント 1.2t·cm²(同上)
材質/製法 热間鍛造アルミニウム/アルマイト処理
寸法 545W×395D×100H(125with Bottom)mm
重量 12kg(14.5kg with Bottom)
材質/構造 高密度パーティクルボード/4層(5層with Bottom)
仕上げ 樹脂塗装(GT-2000)、ウォルナット板目(GT-2000L)
■モータ
型式 DCコアレスホールモータ
駆動方式 クオーツPLL・正負両方向FGサーボダイレクトドライブ
回転数 33 1/3、45rpm
起動トルク 2kg·cm
インジケータ LEDロックインジケーター2個
電子ブレーキ オプションYOP-1使用時可能
■トーンアーム
型式 S字形ライトヘビー・シンバルサポート
実効長 262mm
実効質量 22g(カートリッジ含まず)
オーバーハング 14mm

■ターンテーブル
オフセット角 20°
水平ラッキングエラー角 -1~+2°
針圧印加方式 スタティックバランス型(1周3.0g、0.1gステップ)
適応カートリッジ重量範囲 1~20g
アーム初動角度 水平・垂直7mg
アームリフター オイルダンプ式キュービング
アーム高さ調整 吊り式 +10~ -6mm
ヘッドシェル 純アルミニウム削り出し、13g
PUケーブル NEGLEX 2496 2重円筒型、130pF、350mΩ、金メッキ端子
オートリフター(GT-2000L)
■その他
インシュレーター スプリング・ラバー複合型、高さ調整可能
ダストカバー アクリル製、2kg(サイド5mm、その他4mm厚)
■総合
SN比 85dB(DIN-B、IEC98A WTD)
ワウフラッタ 0.005% WRMS(FGダイレクト)
寸法 545W×395D×230Hmm
重量 28kg
定格電源 100V、50/60Hz
消費電力 7W(GT-2000)
12W(GT-2000L)

プレーヤシステム
GT-2000 ¥138,000
カートリッジレス
GT-2000L ¥158,000
カートリッジレス

●規格及び外観は改良のため予告なく変更されることがあります。●ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後8年です。●保証書を添付しております。保証書はお買い上げ販売店で所定の事項を記入されたものを受け取り下さい。●掲載商品について、くわしいことは、販売店でおたずね下さい。もし販売店でお分りにならない時は当社におたずね下さい。

YAMAHA
日本楽器製造株式会社
本社 〒430 浜松市中沢町10-1
カタログに関するお問い合わせは
日本楽器製造株式会社 広告課
〒104 東京都中央区銀座7-9-18
1982年10月作成

YAMAHA NATURAL SOUND PLAYER SYSTEM GT-2000/2000L

¥138,000

¥158,000



写真はGT-2000L(オプション付き)です ▶ オプション名:YOP-1 ¥32,000 YDS-1 ¥60,000 YAB-1 ¥90,000

このオーソドックスで途方もない巨大さの内に絶対音質の為の精確と精妙さを秘めた、正にGigantic & Tremendousなマニュアルプレーヤ

時代が、プレーヤというものを、コンパクト化し軽量化しプラスチック化し、あるいはローマスストレートアーム化し多機能フルオート化させていく中で、それはそれなりのメリットを承知しつつも、敢えて「原音再生への原点回帰」を期して、単純明快さよりも、あらゆる音質の必要部分の大重量化をいかにもヤマハ的メソッドに沿って実現しているのがGT-2000、そしてGT-2000Lです。

プレーヤにおける良い音—つまりレコードに刻まれたミクロの繊細さの音楽信号を極めてハイファイデリティに拾い出すことのために、いかにもオリジナルでレボリューション的な探索をした結果、生まれたのがPXシリーズであるとともに、いかにもオーソドックスにコンベンショナルに煮詰めたものがGT-2000/2000Lであり、そこでは、このテーマに向けて、必要な部分には材質的にも構造的にも果てしない贅沢が尽され、必要な部分には無遠慮な省略がなされています。

ここには単にオーディオにとって一つの憧憬としての巨大さばかりではなく、一つの本質としての巨大さがあります。感動的な音楽再生ということに向けての、つまり本質的オーディオへの原点回帰と宇宙創造があるのです。

●ターンテーブル●

►熱間鋳造法による精密・重量級
GT-2000/2000Lのターンテーブルは直径374mm、重量が5.8kg(ゴムシート0.3kgを含む)、慣性モーメント1.2t・cmと文字通りGiganticなもの。

このプラッターは、通常よく使われるダイカストや鋳造とは違った「熱間鋳造法」で造られています。

この熱間鋳造法というのは、純度100%近くにまで精練されたアルミニウム

を攝氏500度~700度まで加熱し、特殊高圧プレス機で圧縮成形、さらに切削加工による精密仕上げをし、アルマイト処理を施す、というもので、一般的な製法であるダイカストや鋳造法が、銅や亜鉛を含有したアルミニウム合金を素材としているため、内部に発生したり、正確なダイナミックバランスが保てなくなるなどの重大な欠点を内包しているのに対し、熱間鋳造法には、そのような欠点がなく、ムク材の削り出しを合理的に実現するに等しいもので、ターンテーブルの製法としては現在のところ第一級といえます。

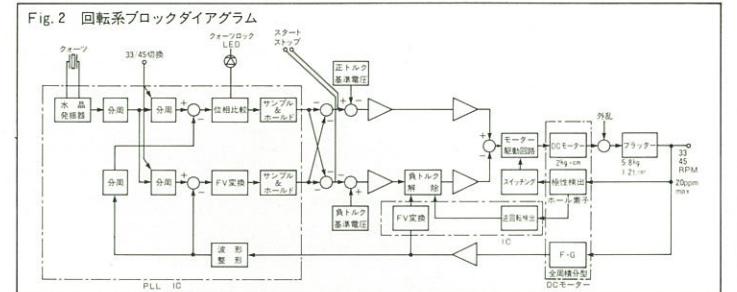
また、GT-2000/2000Lでは直径を374mmと大きくとり、慣性モーメントをかせいでいます。このことで、あのPX-1のターンテーブルが5.6kgという重さであるにもかかわらず、慣性モーメントは760kg・cmにとどまっていることを考えれば、直径を大きくすることの方が重量増で慣性モーメントを大きくするよりも有効であることがわかります。

●モータ●

►2kg・cmの高トルク・クオーツDD方式
慣性モーメント1.2t・cmの巨大ターンテーブルを回すモータには起動トルク2kg・cmのパワフルな、そして原理的にコギングなどの問題のないDCコアレス・ホールモータを採用しています。

また、サーボ系は、新たに加速時と減速時におのとの反対方向のトルクを加えることが出来る「正負両方向サーボ」としており、例えば音楽信号のカッティングレベルのパルシング変動のよう、微妙な負荷変動に鋭い応答性を示します。

モータのシャフトは、この重量級ターンテー

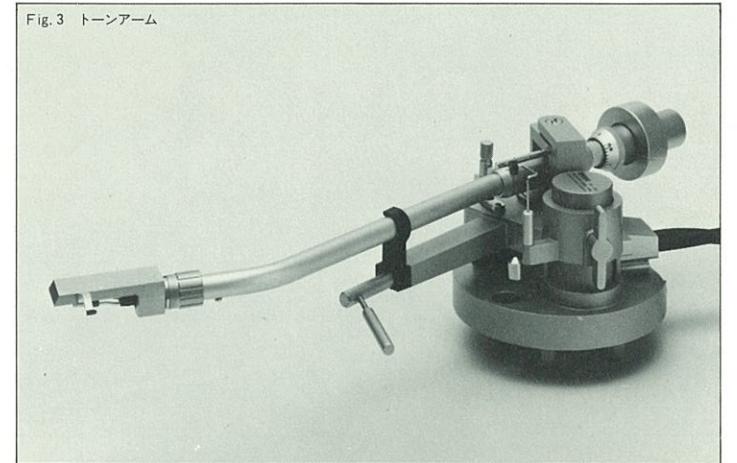


ブルを充分に支えるため、直径10mmと極めて太いものとしており、回転時にフランジャーが傾く、あるいは振れる、といった心配はありません。

以上のことによって、特性的にはワウフット0.005%(WRMS、FGダイレクト)、SN比85dB(DIN-B、IEC98A WTD)と秀抜な値を示しており、長期的な使用にも劣化の心配がほとんどない信頼性の高い仕上りとなっています。

●キャビネット●

▶高密度パーティクルボードによる積層構造



5.8kgという巨大なターンテーブルを2kg・cmという高トルクモータで回転させる際に生じる大きな反力を支えるには、キャビネットもまた巨大であり、高い慣性モーメントを持つことが要求されます。

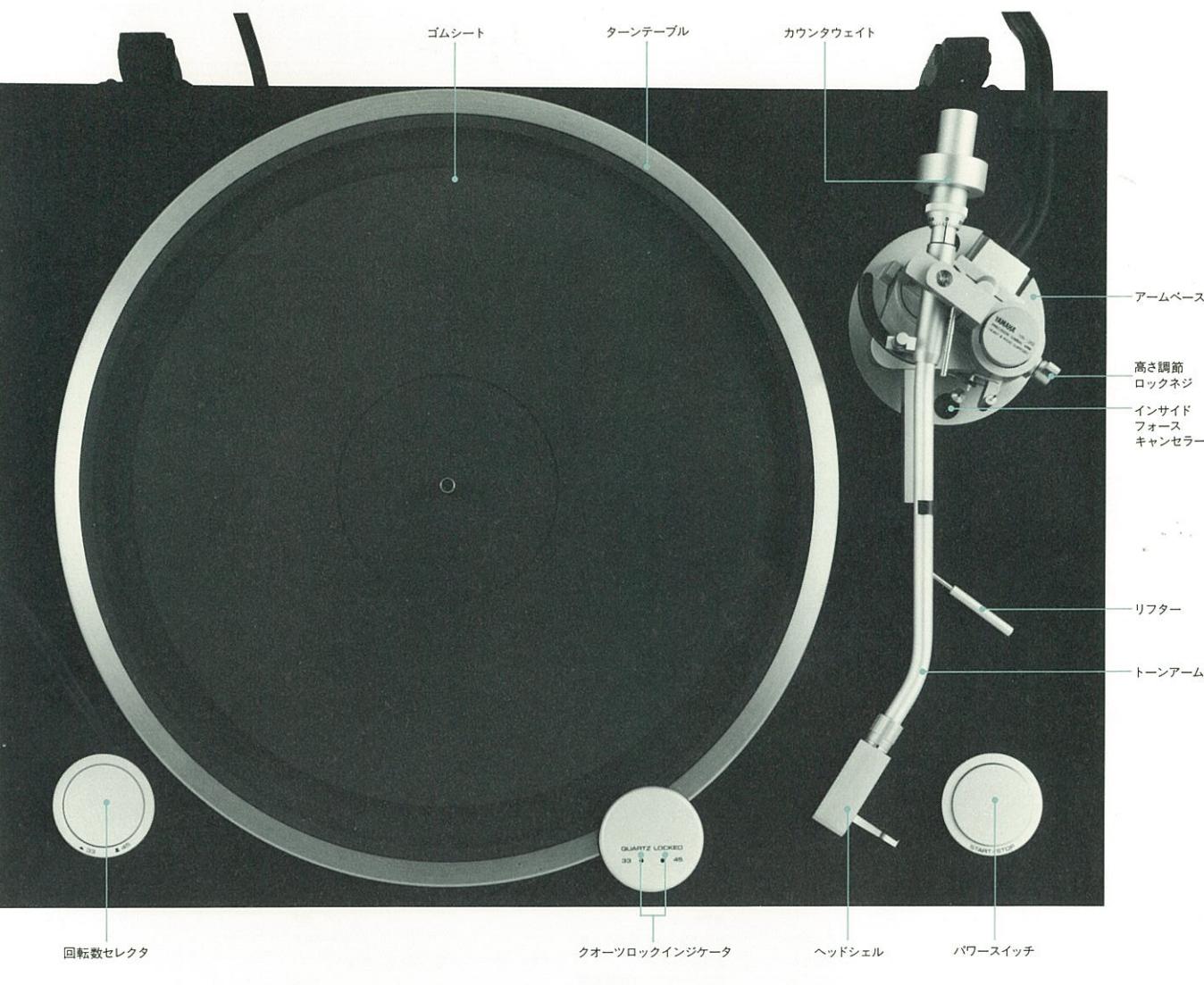
また、プレーヤのキャビネットの材質は望まれる性質は、外部振動の遮断、内部振動の速やかな減衰、あるいは回転系の反力にも微動だにせず堅固に支えることが必要条件とされ、すなわち、「高剛性」「高比重」「音響的に優れた損失特性」の3点が要求されます。

►アーム高さ調整機構
トーンアームサポート部は、現在実用化されている方式の中でも最高級のもののひとつ、「仮想一点支持ジンバルサポート」を採用。この方式はガタが極めて少なく、かつ高感度が得られ、特的には、水平、垂直とも初動感度が7mgという素晴らしい値です。

構造的には、ビボットはアンギュラーコンタクトベアリングで受けられ、そのベアリングはゴムブッシュで支えられて、ガタの排除と感度の向上を両立させています。

GT-2000/2000Lでは、これらの要求にバ

Fig. 4 GT-2000(上から見たところ)



は当然ながら市販のほとんどのカートリッジを取り付けられることが要求され、さらにオプションのディスクスタビライザ(後述)

の使用も考慮して+10、-6mmの幅の広い高さ調整機構を設けています。固定方式は、取扱いが容易で固定が確実な三点支持のロック機構を採用。シャフトは真鍮削り出しφ27mmと極太・堅牢なもので、1mm刻みの目盛付きです。

これらのことによって、市販のほとんどのカートリッジが混変調歪などの発生が抑えられた最適条件で使用可能になっています。

►重量級アームベース
高精度のアームサポート部の優れた特性を発揮させるため、アームベースは亜鉛ダイカスト製の質量充分なものを採用。前述のφ27mmシャフトとあいまって、トーンアームの支持部分の強度を徹底させる設計です。

►S字形パイプ・ライトヘビーアーム
シェル一体型カートリッジを含め、ほとんどのカートリッジを使うことができる、ということでGT-2000/2000LではあえてS字形アームを採用。分類的にはロングアーム・ライトヘビーアームというべき、オーソドックスなアームとしています。ここでは、ロングアームとしていますので、S字のウェリが小さくでき、水平トラッキングエラー角も狭い範

圍に抑え込まれています。

►アンチスケーティング機構

アンチスケーティング機構はシンプルな構造の糸吊り式で、糸の摺動摩擦を低減するためローラーとスラストベアリング入りローラースタンドを設けました。

►ソリッドな純アルミ削り出しヘッドシェル
付属のヘッドシェルは、純アルミニウムのブロックを一品一品丹念に削り出したもの。

ヘッドシェルの二大条件である「カートリッジをしっかりと固定すること」「有害振動を起こし難いこと」を実現するために、カートリッジ取付部の厚さを4mmにする、あるいは全体の長さを短かめにする、コネクタホールド部を極太にするなどの工夫を行なっています。自重13g。

►NEGLEX製PUコード採用

PUコードはNEGLEXの2496ローラインピーダンス(130pF・350mΩ)2重円筒(26芯と23芯)ケーブルを採用。

内部リード線による情報の損失を最小限にし、雑音の混入を防ぐために、ケーブルをキャビネット内を通さず、トーンアームに最短距離で接続しています。

►光学式オートリフタ機構(GT-2000L)

GT-2000Lには非接触光学式オートリフタ機構がビルトインされています。

この仕組は、アームベース側にLEDとフォトトランジスタを並べて設け、それらと向い合ったミラーをアームに取り付けて回転させています。つまり、フォトセンサーの上部にミラーがくると反射光が発生し、オートリフタが動作する、というわけです。

このオートアップ位置の設定は、ユーザーが調整まみを回すことによって自由に調整が可能です。

また、GT-2000にも、オプションの追加によって全く同様な機構を設けることができます。

●その他●

►複合型インシュレータ

PX-2で使用しているものと同じスプリング・ラバー複合型インシュレータをGT-2000/2000Lでも採用しています。

これは低域の振動に強いスプリング、高域で防振効果の高いラバーの長所を組み合わせたもので、どちらか一方だけのものよりもはるかに有効な外部振動遮断特性を得ています。高さ調整機構付き。

►アクリル製ダストカバー
ダストカバーは、サイド5mm、その他は4mmと極めて厚いアクリル製です。重量も2kg。ハウリングに強い優れた仕上りです。

●別売オプショナルパーツ●

►アウターパワーサプライ: YOP-1 ¥32,000

GT-2000/2000Lの内蔵電源の約2.5倍の電流容量を持った専用外部定電圧電源ユニットです。このYOP-1を追加することによって回転系の安定性を、より一層高めることができます。

また、プレーヤ本体側のSTART/STOPスイッチに連動して、この巨大ターンテーブルに対し強力な電子ブレーキをかける能力を持ち、速やかに回転を停止させることができます。

►オートリフタ: YAL-1 ¥9,000

GT-2000専用オプション。これを追加することによってGT-2000Lと同じ機能にレベルアップすることが可能です。

►ディスクスタビライザ: YDS-1 ¥60,000

電動ポンプ式レコード吸着システム。原則的にはレコードをほぼ大気圧で、しかも全面均一に押さえつけられ、あたかもレコードの重量が4.5kgにまで増加したと等価になります。ソリが矯正されるなど、真にレコードに刻まれた音楽情報をだけをカートリッジがピックアップする、という理想に近い状態が実現します。

このプラッタは真鍮製。ターンテーブルの慣